

渚西中だより

令和6年1月9日(火) 第5号
枚方市立渚西中学校
校長 野口 明郎

校訓『自律・協調・努力』

令和5年度3学期(令和6年度への助走)がスタートしました

令和6年を迎えました。はじめに、1月1日 石川県能登地方を中心とした大地震が発生し、お亡くなりになられた方々へ哀悼の意を表するとともに、被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。

さて、冬休みも終わり、本日から3学期がスタートしました。この3学期は、4月に迎えるそれぞれの新たなスタートに向けて、大切な学期となります。おそらく4月からの新たなスタートに向けて、「2年生になったら・・・」「3年生になったら・・・」「卒業したら・・・」。そんな夢や目標をすでに持っている人もいないのではないでしょうか？

皆さんにも共通する部分もあるかと思いますが、例えば陸上競技において、遠くへ跳ぶ。高く跳ぶために必要な動作は何でしょうか？様々な要素が絡んだことが結果となるのは間違いないことですが、間違いなく1つ言えるのは、**助走がない状態では遠くへも、高くも跳べない**ということです。

そういった意味でも、来年度、皆さんそれぞれの**夢や目標を実現するための助走であるこの3学期がとても重要になってくる**ことは間違いありません。

私は皆さん1人ひとりが、**なりたい自分を想像し、そのなりたい自己を実現できる皆さんになって欲しいと願っています**。そのためにも、この3学期は、たくさんの仲間とつながり充実した学期となるよう1日1日を大切にしていきたいと思います！

保護者の皆さまには、今年度も、残り少しとなりましたが、生徒たちにとって、安全・安心の確保や進級・進学に向けた取り組みに対し、引き続き、私ども教職員も全力で臨んでまいりますので、各ご家庭におかれましても、本校教育に対し、ご理解・ご支援いただけますようお願いいたします。

【始業式での校長からの話の概略を紹介させていただきます】

現在パレスチナで起きている出来事を通して以下の話をしました。

世界の出来事に関心をもってください

これらの出来事の原因は、今から2000年以上にも遡りますが、日本と約9000kmも離れた国の出来事は、日本に影響はないのでしょうか？

今、世界はグローバル化が進み、国境を越えた人・ものが活発に移動し、**今後これまで以上に世界の国々との結びつきが強くなっていく時代**となっています。その中で、イスラエルに拠点を置いている日本の企業が90社をこえ、この出来事により、原油高だけでなく、様々な物価高や円の価値が下がってくるなどの影響も予想されています。実は**すべてが繋がっていて、遠い異国の地の出来事は、私たちに全く関係のない出来事ではない**のです。だからこそ、今まで以上に世界の出来事に関心をもって欲しいと思います。

そして身近な出来事を自分事としてとらえてください

約9000kmも離れた出来事であっても影響があることなら、なおさら、学級の出来事や学校の出来事は、より皆さんに大きな影響を与えるはずで、自身が直接関係のない身近なことであっても、他人事ではなく、少しでも関心を持ち、**その出来事に対し、少しでも自身ができることを行動につなげられる、「自分事としてとらえる」力**を皆さんに身につけて欲しいと思います。